

Interview

伊藤商店のパンフレット 学生が製作

生コン製造販売などを手掛ける伊藤商店(東海市、伊藤大司社長)で、学べるアルバイトの3期生5人が同社のパンフレットを製作した。製作者は、日本福祉大学の塩澤彩志さんと毛利真稀さん、南山大学の さん、中部大学の さん、星城大学の さん。学生が自ら紙面構成して取材するなど、これまでにない発想で9月から試行錯誤を重ねてきた。3日に成果品を見た学生に感想などを聞いた。

パンフレットの成果品について話す



「パンフレットの製作で工夫したことは、

「学生目線で訴求したい内容にするために、社長の

(聞き手は名古屋支局「徳山貴史」)

「学べるアルバイト3期生」5人

就活生目線で訴求

あいさつを後ろに持つていくことから始めた。自分が何のために働きたいのかを知ってもらうことが重要と考えて、従業員や取引先などにインタビューを行い、見せる、読ませるパンフレット

学んで、このパンフレットにまとめた。これまでの就活で学生が気になっていたり、給料や福利厚生、勤務地などで迷うことよりも大

「3カ月間を振り返って、みんな、取りあえずやってみようの考えが共通してあったので、アイデアがどんどん出てきて楽しかった。意見をぶつけ合わせることで成長したと思う」

「会社で携わる人の多さに驚いた。建設業界のつながりが多岐にわたり、支えあいながら存在していることを学んだ」

「コンクリートの会社なのにいろいろなイベントを行っているのに驚いた。経営理念を知る機会になった」

「この経験を踏まえて就活に感じることは、

「このアルバイトで会社を見る目が変わった。会社

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「地域に貢献したいことが明確になった。誰かのために働くことでみんなが幸せになる」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」

「インターンシップは一つの手段ではあるが、得られる情報は限られている」